

ESG投資を通じたSDGs達成に向けた取組みについて
～ESG債を購入～

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、ESG債を購入しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行では、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組みの一環として、ソーシャルボンドなどのESG債への投資を積極的に推進しております。

今後も、金融商品・サービスの提供を通じて、SDGsへ積極的に取り組む企業やお客さまを支援してまいります。

記

購入したESG債（※）の概要

発行体	東日本高速道路株式会社	富士フイルムホールディングス株式会社
種類	ソーシャルボンド	ソーシャルボンド
年限	10年	5年
発行額	200億円	400億円
発行日	2022年4月28日	2022年4月20日
資金用途	高速道路の新設・修繕等	バイオCDMO事業における製造拠点の新設、M&A、生産能力増強にかかる設備投資、高効率・高生産性技術の開発等
関連する主なSDGs		

※ ESG債は、国際資本市場協会が定める原則等に則って発行された債券であり、環境面・社会面において、持続可能な経済成長の実現に向け支援することを目的としております。

OESG債への投資額累計



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月に「SDGs実践計画」を策定しました。

以上

